

# (仮称)豊田市交通安全教育施設整備・運営事業

## ■事業概要

発注者	豊田市			
施設概要	施設規模:敷地面積 約49,000㎡、交通安全学習館 延床面積 約2,700㎡ 主要機能:①交通安全学習館(教室、シアターホール、体験型展示ゾーン等)、②市街地模擬路、③その他屋外施設、④造成森林その他付帯施設			
事業内容等	施設整備業務、維持管理業務、運営業務(①基幹業務(団体指導業務、出張指導業務、多人数参加体験型シアター運営業務、一般利用対応業務、交通安全啓発業務)、②管理的業務(管理業務、広報業務、窓口業務、急病人等への対応業務、送迎業務使用料徴収業務、売店運営業務))			
事業期間	約17年(管理運営15年)			
事業形態	BTO方式、サービス購入型			
VFM	VFM(特定事業の選定):3.9% VFM(事業者提案段階):10.59%			
テーマ	テーマ1:民間事業範囲の拡大可能性			
スケジュール	実施方針公表 特定事業選定 入札公告	平成19年3月20日 平成19年5月30日 平成19年6月5日	落札者決定 契約締結 供用開始	平成20年1月7日 平成20年6月23日 平成22年4月(予定)
事業者	豊田交通教育株式会社(代表企業:日本道路株式会社)			

# (仮称)豊田市交通安全教育施設整備・運営事業

## ■事業の特徴

### ●交通安全教育をPFIで実施することにより期待した役割・効果

設計・建設から運営までを民間事業者に一体的に任せることにより、効率的かつ効果的な交通安全教育の実施のために必要な施設を、施設整備段階から運営を考慮した施設整備運営事業として期待した。

また、長期間にわたって交通安全教育を任せるため、交通安全に関する情報や法律などの更新・分析、市民意識の変化への対応など、交通安全教育を実施していく上で、関連する状況の変化等に柔軟に対応して、教育カリキュラムの計画や教育の実施を期待した。

### ●要求水準の設定

交通安全教育に関しては、責任を持った運営の実施を民間事業者に期待する意味でも、施設長には、交通安全に関する指導実績また学校教育の経験を有するものを配置することを条件として付した。また、要求水準については、発注者側が求める最低限の水準を記載することとし、民間事業者の提案の自由度を高めるように設定した。ただし、発注者側の意図を明確にするために、運営業務参考資料として、既存の交通公園の運営業務の実施状況をもとに、発注者側が想定している運営業務の内容や実施手順について示した。

### ●発注者側の提案の評価及び今後の課題

本施設では、参加型シアターやシミュレーター等のIT関連の特殊機器が含まれており、その更新も業務範囲としていたことから、将来をある程度見通した更新計画の提案がされていたことに加え、運営を実施する上で、市民の要望や意見の反映や人員配置において、柔軟な運営計画が提案されているなど、発注者側としては期待通りの提案が出てきていたと感じている。

今後は、提案内容が実際に実現し、効果を上げていけるように、発注者側として、モニタリングを実施するなど、サービス水準の確保のための対策を講じていくことが必要と考えている。

また、本事業のように運営の比重が高い事業では、SPCが事業全体をトータルマネジメントしていく機能を有しておくことなどが必要ではないかと考えている。